

4月定例会

1. 日時 2014. 4. 27 (日) 13:30~16:10
2. 場所 厚崎公民館
3. 出席者 13名
4. 司会 柴田
5. 議題
 - (1) 「市民計測所」運営について・「アースデイ」参加について (竹原)
 - (2) 意見交換
 - ① 「小出先生の講演会」の感想
 - ② 「最終処分場」(「中間処理場」「仮置き場」も含む)問題
6. 議事
 - (1) 「市民計測所」運営について (本日、午前中に「市民計測所」の開所式を行いました)
 - ・原則として「計測所」は毎日開ける。(10時~12時)
 - ・5月いっぱいには先日、4月23日の「測定講習」を受けた新しい測定者と、これまで測定の経験のある者がペアを組んで測定に当たり、測定の技量をたかめていく。
 - ・当番に当たった測定者は、「測定器」の空いている時間に、自己の持参した検体(測定したい物)の測定を無料で行うことができる。
 - ・5月いっぱいの測定担当・当番を決める。(担当 山田・山崎)
 - ・5月いっぱい、随時、測定講習を受け付ける
 - これまでの測定経験者がインストラクターを務めて、随時、測定講習を行っていく。
 - 多くの会員の皆さんが測定できるようになり、市民計測所の活動に参加していただきたい。
 - 測定者が増えることによってお互いに負担が少なくなり、かつ、利用する人にとっても便利な「市民測定所」の運営が可能な体制ができていくと思われる。
 - 自分で食品測定ができるようになりたいと、測定講習を希望される会員の方は、「那須希望の砦」の電話(またはメール)にご連絡ください。
(080-6051-6424 担当 山田)
 - ・「那須希望の砦」の活動を広く知ってもらうために「アースデイ」(5月18日)に参加し、3m×3mのブース(ブース代 1000円)を出す予定。どのような紹介のしかたをするか、今後の役員会で検討していく。

(2) 意見交換

① 「小出先生の講演会」感想

(講演内容について)

- ・ 広島の前爆と比較した福島原発の話はわかりやすく、新鮮で驚きだった。
- ・ 小出先生の講演によると、3年経ってセシウムが63%に減少している、という話だったが、実測すると場所によって違う。実感として、そこまで下がっていないと感じる。
- ・ 低線量地域であるこの地に今後とも住み続けるために、小出先生からどんな具体的な提案がなされたのか。(講演を聞くことができなかった方から)

映画に「18歳未満 禁止」があるように、食品を「〇〇才未満 禁止」と年齢によって分けて、リスクを減らしていくほかないのではないか、という提案。

これに対しては次のような意見がでた。

3世代同居もあり、実際には不可能ではないか。

3世代同居ならば、一番小さい子どもに合わせればいいのではないか。どちらにしても「測って安全 測って安心」だから、ますます「砦」の重要性が増してくると思った。

- ・ (2年前、福島原発から35キロの福島県小野町から那珂川町に避難、転居されてきて、19日の講演会場で砦のチラシをご覧になり、あたらしく会員になられた方が、はじめて定例会に出席されました。そしてこれまでの経験や、栃木県那珂川町に移り住んでからの疑問、感想を発言されました)

厚崎公民館前にモニタリングポストがあり、空間線量を表示してあるのを見て、びっくりした。

小野町の除染の実態 表土を15～20センチ削って反転させた。3年経っても小川町の屋内・屋外の線量に変わりはない。

「砦」の人たちの放射能に取り組む熱心さに感心し、那珂川町と温度差を感じる。

以前、役場で食品を計測してもらったら、「不検出」だったが、疑問に思っただけで民間で計測してもらったら100ベクレルを超えていた。確な「証明書」も出してくれなかったが、「砦」では計測結果の「証明書」を出してくれるのでしょうか。

那珂川町では20日に町議会選挙があったが、以前、矢板市が反対し

た栃木県の最終処分場を那珂川町に誘致し、10億円（補助金？）もらって町を活性化させよう、という議員が多数でびっくりしている。

（講演会の持ち方について）

- ・質疑応答の時間をもう少し長くって、生の声を聞いてほしい。
- ・講演前の各団体のチラシ配りは申し合せ事項が充分伝わらず、多少混乱があった。

②「最終処分場」（「中間処理施設」「仮置き場」も含む）問題

- ・「最終処分場」は指定廃棄物（8000ベクレル以上の灰・汚泥など。除染した土は含まれない）を埋める場所。各県にひとつずつ作ることが法律で決められた。
- ・「最終処分場」の建造物はコンクリートの2重構造と決められ、国のホームページに載っている。放射能が溶け出す可能性もあるのではないか。
- ・どこに作っても問題だ。住民の監視が必要だ。
- ・「最終処分場」のように、大規模に集めない方がよい。いまある場所から移動させずに埋める。理由は3つ。
 1. 大規模に集めて崩れた時の被害の大きさ
 2. 住民監視がしやすい
 3. 「最終処分場」に運ぶまでの周辺地域の放射能汚染をふせぐ
- ・我が家は井戸水を利用している。上記のような意見は困る。
- ・「最終処分場」の建設そのものに反対する方の、反対する理由を聞きたい。
- ・煙突から排出する煙によって放射能がまき散らされる。二重、三重の被害が出る。
- ・意見が（賛成か反対か）2極化しないように違う意見も聞いていきたい。

（記録 三楠 紀子）